

路線の概要

主要地方道山中伊切線は、山中温泉から片山津温泉に至る延長約22kmの幹線道路です。また、この路線の一部は、小松ICと加賀温泉郷を結ぶ南加賀道路に位置づけられています。

このうち、森町～松山町の区間においては、平成18年に整備が完了し、交通の安全性が向上したものの、水田丸町～森町の区間では、依然として道路幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難であるなど、交通の安全が十分確保されていない状況でした。

今回、水田丸町～森町に至る延長2,260mのバイパスが開通することで、住宅が建ち並ぶ勅使町や横北町など集落内を回避することによる交通の安全確保に加え、幹線道路に直結することによる広域交流の拡大や、観光客の増加による賑わいの創出に大きく寄与するものと期待されます。

道路整備の効果

広域交流

北陸自動車道(小松IC、片山津IC)及び小松空港と加賀温泉郷を幹線道路で結ぶことによる交流機会の拡大。

賑わい創出

山中温泉など地域資源へのアクセス性を高め、観光客の増加による賑わいの創出と地域経済の活性化。

安全・安心

バイパスの整備及び歩道の設置による交通の円滑化・事故抑制・自転車歩行者の安全確保。

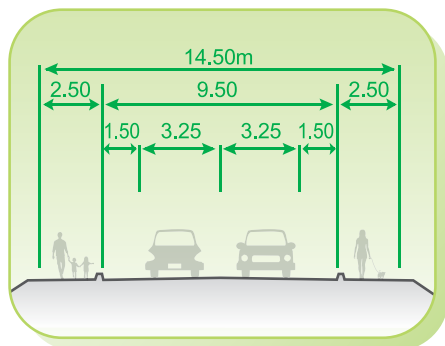


事業の概要

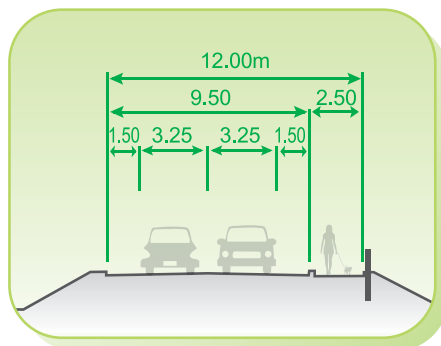
■開通区間	加賀市水田丸町～森町	■道路規格	第3種 第2級
■道路幅員	W=9.5(12.0～14.5)m	■設計速度	V=60 km/h
■延長	L=2,260m	■事業期間	平成13年度～平成23年度

標準幅員構成

①水田丸町～小坂町
(両側歩道部)



②小坂町～森町
(片側歩道部)



この写真は加賀市長の承認を得て複製したものである。(承認番号)平成23年 収加整第12.20-2号

整備前後の道路状況

- 道路幅が狭く、通行する車両のすれ違いが困難。
- 歩道が設置されていないので通学児童にとって危険。
- 住宅が立ち並んでいる集落内は見通しが悪く、走行に支障。

整備前



▲歩道が設置されていない現道を歩く通学児童

整備後



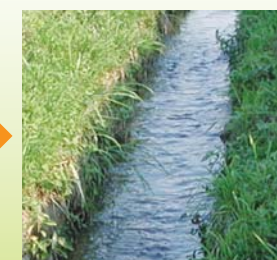
▲道路整備後の歩道を歩く通学児童

ゲンジボタルの生息環境への配慮

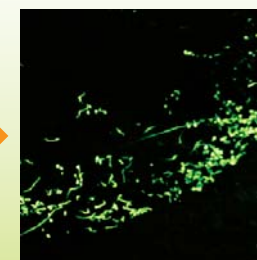
工事箇所にはホタルが生息する水路があったため、近傍の水路をホタルの生息しやすい環境に改修した結果、新たな生息地として多くのホタルが観測されています。



▲施工直後のホタル水路



▲3年後のホタル水路の状況



▲現在飛翔するホタルの群れ

■ホタル水路とは

- ・水路の底に石を詰めてあるので水草などが生育しやすい。
- ・ホタルの幼虫にとって隠れ場となる。
- ・ホタルのエサが生息しやすい。



▲ゲンジボタル